

アジア初「微博群馬」構想に夢膨らむ

群馬県の山本一太（やまもと・いちた）知事は東京都内で昨年12月、中国最大級の短文投稿サイト「微博（ウェイボ）」と相互協力の覚書を結び、微博に開設する群馬県専用の観光情報発信サイト「微聚群馬（通称・バーチャルぐんま）」の構想を明らかにした。観光地情報や群馬県関連の投稿などを掲載し、検索や問い合わせ機能を充実する。群馬の魅力PRと旅行時の利便性向上につなげ、中国人観光客の増加を目指す。覚書締結は英国ロンドンに次いで2例目。アジアでは初めてだ。（覚書締結：2019年12月6日）

バーチャルぐんまは、微博がパートナーと認定した世界各地の地域情報を発信するため準備中の新コンテンツ「バーチャルシティ」内に開設する。今後、群馬県と微博が具体的な内容を協議し、本年早期の運営開始を目指す。群馬県内観光地の動画や写真、イベント情報を発信するほか、微博ユーザーが本県について投稿した内容を閲覧・検索できるようにする。群馬への交通手段や宿泊予約などを自由に問い合わせできる機能も予定している。

群馬県は以前から微博に公式アカウントを持ち、中国への情報発信に活用してきた。さらに閲覧数が多く影響力の大きい「インフルエンサー」と呼ばれる投稿者を県内視察に招いたり、微博のイベントに参加したりして継続的に協力関係を深め、パートナーにふさわしいと判断された。

微博は短い文章や写真などを投稿でき、中国版ツイッターと呼ばれる。ユーザー数は8億人、一定の利用頻度があるアクティブユーザーは1日2億人に上り、旅行先の情報を得る媒体としても中国で広く利用されている。

2018年の宿泊旅行統計調査によると、群馬県に宿泊した中国人観光客は延べ3万2,370人で、国・地域別で2番目に多い。ただ、最も多い台湾の12万6,610人を大きく下回っている。山本知事は「日本一の温泉と22年の北京冬季五輪を前に盛り上がるスノースポーツを両方楽しめるのが強みだ。2倍、3倍くらい的大幅な増加を目指している」と強調した。

上毛新聞社 取締役東京支社長 田中 茂



覚書締結後、群馬県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」を交えて記念撮影する山本知事（右）と微博のジェニー・ソー氏